

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	力学第二演習		
英文授業科目名	Exercises in Mechanics II		
開講年度	2006年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	専門科目-専門基礎科目-必修科目		
開講学科・専攻	知能機械工学科		
担当教官名	越智 保雄		
居室	東4-424		

公開E-Mail	授業関連Webページ
ochi@mce.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
力学は様々な物体の運動を理解するための基礎的な学問です。特に機械工学系の学生二都ってはさらさらに専門的な材料力学、熱力学、流体力学、機械力学等を理解して、実際に機械の運動を力学的に取り扱い、設計に適用するための基礎となります。本講義では、力学第二の範囲に関して演習を中心に実際に問題を解き、力学的な問題の理解力を得ることを目的とします。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
力学第一、力学第一演習

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>

<b>【教科書等】</b>
特に用いないが、毎回演習問題をプリントとして配付する。

## 電気通信大学 平成18年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

構成材料のモデルとして、質点系と剛体の力学を取り扱う。毎回授業の初めに簡単に授業内容と例題の説明をしてから、演習問題を与える。授業の後半には演習問題の解答説明を行って、自己採点をしてそれを提出する。また、授業の途中で中間試験を2回実施する。授業の内容は以下の通りです。

第1週～第4週 質点系の力学

- ・重心、運動量、角運動量、重力のモーメント

第5週 中間試験I

第6週～第10週 剛体の力学I

- ・剛体のつり合い、剛体の運動、回転運動と慣性モーメント、運動エネルギー、

第11週 中間試験II

第12週～ 剛体の力学II

- ・固定軸まわりの剛体の運動、剛体の平面運動

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

2回の中間試験、期末試験および出席を加味して成績評価を行うため、毎回の演習問題をよく理解するよう、必ず授業には毎回出席をすること。

### 【オフィスアワー：授業相談】

適宜対応するが、必ず事前に電話、メール等でアポイントを取ること。

### 【学生へのメッセージ】

力学は物理学の基礎として、また2年次以降の機械工学系の学科の専門科目の基礎として大変重要な科目です。とにかく毎回出席して、演習問題を十分理解するよう努力してください。

### 【その他】